

(資料5)

形成外科領域専門研修プログラム
K 大学モデル

K 大学病院を中心とした 3 つの日本形成外科学会認定施設と 2 つの日本形成外科学会教育関連施設で、すべての形成外科専門医カリキュラムを達成することを目標とする。

但し、それぞれの病院には取り扱う疾患の分野にばらつきがある。このため、各専攻医のカリキュラム達成度を半年毎にチェックし、不足分を補うように病院間での移動を行う。

特に先天異常や腫瘍切除後の再建については、K 大学病院での研修が必要となるため、最低でも 1 年間は K 大学病院での研修を行う。

(日本形成外科学会認定施設)

K 大学病院形成外科・顎顔面外科

A 病院形成外科

B 病院形成外科

(日本形成外科学会教育関連施設)

C 医療センター形成外科

D 市立病院形成外科

K 大学病院形成外科・顎顔面外科は、すべての項目の症例がそろっている。他の施設での不足分については、大学病院にて補う。

A 病院形成外科は、I.外傷と V.難治性潰瘍の症例が多い。一方、II.先天異常、III-3 腫瘍切除後の組織欠損の症例が少ないので、その不足分は大学病院もしくは B 病院にて補う。

B 病院形成外科は、II.先天異常の症例が少ないので、この不足分は大学病院にて補う。

C 医療センター形成外科は、I.外傷、II.先天異常、III-3 腫瘍切除後の組織欠損の症例が少ないので、その不足分は大学病院、A 病院形成外科、B 病院（いずれも日本形成外科学会認定施設）にて補う。

D 市立病院形成外科は II.先天異常、III-3 腫瘍切除後の組織欠損の症例が少ないので、その不足分は大学病院、A 病院形成外科、B 病院（いずれも日本形成外科学会研修認定施設）にて補う。

専門医研修カリキュラムでは、到達目標の達成時期を 1 年次から 4 年次まで項目別で設定している。しかし実際には、各施設の症例数や人事異動などでその時期が前後すると予測される。そのため、設定した年次はあくまで目安であり、4 年次までにすべての到達目標を達成することを最終目標とする。

K 大学モデル全体で、データベースをもとに 1 年間で形成外科専攻医の教育可能な人数を算出すると、最も効率的に行った場合で約 18.4 名である。しかし実際には、人事異動などの都合上その約半分の 9 名までが 1 年間に教育可能な人数となる（別紙資料 3）。